



平成28年11月29日

各 位

会社名 株式会社 U A C J
代表者名 代表取締役社長 岡田 満
(コード番号 5741 東証1部)
問合せ先 広報 I R 部長 澤地 隆
(TEL 03-6202-2654)

UACJ (Thailand) Co., Ltd. ラヨン製造所への設備投資に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社子会社のUACJ(Thailand) Co., Ltd. (本社：タイ王国ラヨン県アマタシティ、社長：山口明則、以下「UATH」) に対して、下記のとおり設備投資を実施することを決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 設備投資の目的・理由

当社の主力製品である缶材市場においては、経済成長や人口増加に伴い需要が拡大するとともに、お客様のグローバル化が進行しており、特に成長著しいアジア市場において、今後も旺盛な需要が期待されております。自動車用アルミニウム市場においては、熱交換器材への需要が伸長する一方、北米を中心に需要が急拡大するパネル材も、今後アジア市場にも波及することが見込まれております。

UATHは、2012年3月よりラヨン製造所の建設に着手し、2014年1月より冷間圧延から仕上げ加工にいたる下工程の第1期操業を開始しました。2015年8月には、鑄造から熱間圧延までの上工程の建設(第2期)が完了、2017年度年間約20万トンの生産体制を目指して、一貫生産を開始しました。これまで、主にアジア市場における飲料缶メーカー、自動車部品メーカー向けに、飲料缶材、自動車用熱交換器材などの高品質でコスト競争力のある製品を供給してまいりましたが、2016年10月には月産1万トンを達成し、お客様のニーズに着実に応えてまいりました。

今後、当社が世界的に競争力のある真のアルミニウムメジャーグループとして、主に缶材を中心にグローバル化するお客様のニーズに対応していくためには、日本・米国・タイの3極で確固たる生産基盤を築き、グローバルかつ安定的に供給することが必要不可欠となってまいりました。ラヨン製造所の優れた地の利を最大限に生かし、高品質・低コストの製品の提供をさらに追求して、国際的な競争を勝ち抜くため、設備投資による生産能力の向上とコスト低減による収益力のさらなる改善が必須であると判断し、今般、投資を決定するに至りました。

2. 設備投資の概要(予定)

①所在地	本社、ラヨン製造所(タイ王国ラヨン県アマタシティ)敷地内
②設備投資の内容	鑄造ライン(鑄造設備、屑溶解炉、溜炉)、 熱間圧延ライン前後設備(スカルパー、加熱炉)、 冷間圧延機、表面処理・塗装ライン、スリッター、建屋等
③設備投資予定額	約370億円(約122億パーツ)(第3期)
④稼働開始	2019年6月予定(第3期)
⑤設備投資後の生産能力	年間約32万トン(第1～3期合計)

3. 今後の見通し

本件に伴う平成29年3月期の業績に与える影響はございません。
なお、設備投資資金につきましては、自己資金を中心に必要に応じて金融機関などから調達する予定です。

以上